

# 2025年度 メリー★ポピinz 北朝霞ルーム

## 事業計画書

### I. 基本方針

- ① 「混ざる」その先へ 健常児も障害児も生きる力を獲得する
- ・異年齢保育、インクルーシブ保育を通して、子どもたちは様々な年齢や国籍、特性の友だちと関わりを持つことができる。その中で、それぞれの見た目や特性の違いに気付き、他者との関わり方や協働性、感情コントロール等、社会に出る為のにんげん力を身に付けていく。
  - ・スタッフは子ども同士の関わりを見守り、必要な場面では手助けをしながら、子ども同士の関りを深めていく。子どもたちを中心に置き、子どもたちにとって今一番大事なことは何なのか、保育を計画、実践していく。
  - ・障害の有無で隔てることなく、全ての子どもたちが共に協力し合い、安心して生活ができる保育園となる。保育者、支援員問わず全てのスタッフが全ての子どもたちと関り、子どもたちが自ら「混ざり」「自己決定」ができる環境を構成していく。
- ② 労働と自然体験を丁寧に行う
- ・乳幼児共に、土・水・火等の自然物に触れる体験を、年間を通して計画・実践していく。
  - ・幼児クラスを中心に畠計画について話し合い、畠作りから収穫までを労働として実践していく。その中でトライアンドエラーを経験し、子ども自ら考えて行動できるようにスタッフが環境を設定していく。
  - ・スタッフは、園内研修の中で労働、自然体験に関する勉強会や成果発表を行う。
- ③ 大人のにんげん力UP
- ・スタッフも経験を積み、自身のスキルアップを目指す。保育はチームだが、子どもの自主性や一人ひとりの自分らしさを発揮できるよう、スタッフ自身も個性や強みを活かし、子どもたちにとって必要なことや、スタッフが取り組みたいことを実現できるチーム作りを目指す。
  - ・毎月の園内研修や法人内のスキル講座等、社内での学びの場を充実させることで、プライベートでは自身の好きなことや興味のあることに積極的に取り組める時間を捻出し、スタッフ一人ひとりのにんげん力UPを目指す。

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	スタッフが働きやすい環境となる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩時間、事務時間をシフト内に事前に組み込み、働き方に見通しを持つ。</li> <li>・年間5日以上有給休暇を取得し、プライベートの時間も充実させる。</li> <li>・社内研修を活用することでスタッフの学ぶ意欲を高め、保育の質向上に努めていく。</li> <li>・園内研修では、スタッフそれぞれが得意分野をアウトプットし、自信を付けると共に</li> </ul>
2	計画・ねらい	ヒヤリハット、インシデントの分析
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育中に発生したヒヤリハット、インシデントを当日中に記録する。</li> </ul>

		・スタッフ全員でヒヤリハット、インシデントの共有と分析を行い、“防げたはずの事故”を無くしていく。
3	計画・ねらい	丁寧な保育の実践
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室の美観を保ち、子どもたちが気持ち良く、清潔に安心して生活ができる保育環境を作る。</li> <li>・給食では、子どもたち一人一人の喫食状況を全スタッフが把握する。楽しみながら食事が取れるような言葉掛け、食欲が湧く盛り付け等、食事環境に配慮する。</li> </ul>

## 〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	子どもの持ち物の準備、管理をスタッフも共に行う
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の着替えや布団のシーツ等は登園時にお預かりをし、スタッフが支度をする。（幼児クラスは子ども自分で行えるように一緒に行う）</li> <li>・着替えのストック等お預かりしている物を定期的に確認し、不足や破損等は即日保護者様にお伝えをし、ご準備頂く。（必要であれば保護者様にも直接ご確認頂く）</li> <li>・ご家庭からの準備物を極力減らし、登園時の負担を軽減していく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	3分間お迎え対応の充実
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時、その日に担当していたスタッフが保護者対応をし、日中の様子をお伝えする。</li> <li>・お迎えが他家庭と重なりお待ち頂く際、玄関にドキュメンテーションや活動写真、製作物を掲示し、ご覧頂く。</li> <li>・保護者からの質問や疑問点には即日回答する。分からることは曖昧にせず、施設長に確認を取る。</li> </ul>
3	計画・ねらい	子育てに関する相談窓口となる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園へのご要望を始めとし、育児に関する質問や子どもの成長に関する疑問等を、保育園のスタッフに相談できる雰囲気作りに努める。</li> <li>・スタッフも継続的に学び、保育に関する新しい知識や経験の習得に取り組む。</li> </ul>

## 〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	ちきんえっぐやどろんこ祭等、地域に向けた活動への参加者獲得
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせを玄関先に設置。散歩先で地域の方に口頭でお知らせをする。</li> <li>・当日現地でもお声かけをする等、地域の方も参加しやすい環境を設定する。</li> </ul>
2	計画・ねらい	地域の方も参加できる食育活動
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑（朝霞どろんこ保育園）にて、野菜の種植えや水やり、収穫等を地域の方と一緒に楽しむ。</li> <li>・収穫した野菜を使用したクッキングを地域の方と一緒にを行う。（野菜の塩もみ、しょうゆ炒め等）</li> </ul>

#### 〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	日課、労働の理解
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どろんこ会で実施している日課（リズム体操、座禅、雑巾かけ）について、スタッフ自身が知識を身に付け、子どもに教えていく。</li> <li>・畑仕事、針仕事等の労働について、大人が手本となり子どもに教えていく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	『大人のにんげん力UP』～自分の個性を發揮していく～
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育内容や行事について、例年通りの内容、固定概念に囚われず、スタッフ一人ひとりが子どもたちにとって『今一番大事なことは何か』を考え、計画する。</li> <li>・スタッフ自身の得意なことを保育に取り入れ、活かしていく。</li> <li>・得意分野や研修で得た知識を他のスタッフに伝え学びを広げていき、園のスキルアップを目指す。</li> <li>・苦手な面もさらけ出し、補い合っていく。</li> </ul>

#### 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	季節感ある環境作り
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の製作物等を掲示し、季節を感じられる保育室を作っていく。</li> <li>・戸外で見つけた草花やプランターの野菜等を設置し、季節の植物を身近に感じる。</li> </ul>
2	計画・ねらい	保育園の前や公園の清掃
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園降園時に通る保育園周辺の清掃を毎日行い、美化に努める。</li> <li>・散歩先の公園の設備を大切に使用し、ゴミ拾いを積極的に行う。</li> </ul>

#### 〈6〉衛生管理・感染症予防

1	計画・ねらい	毎日の清掃、消毒の徹底
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表を活用しながら、園内の清掃作業を徹底する。</li> <li>・清潔を保ち、感染症対策に努める。</li> <li>・必要最低限の物のみ設置をする。</li> </ul>
2	計画・ねらい	感染症対策
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節毎の感染症や流行する病をスタッフ全員が理解する。</li> <li>・世の中の情勢や感染症情報を把握し、保護者と連携を取りながら、園ができる予防策を検討していく。</li> </ul>

## 2. 施設運営

### 〈1〉 施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
0人	12人	12人	12人	12人	12人	60人

### 〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	2人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	3人	補助	0人	調理	0人	事務	1人
	用務	0人						

## 3. 運営方針

### 〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	コンピテンシー、園内研修
給食運営会議	月1回	食育計画の作成、振り返り
事故防止委員会	月1回	自園のヒヤリハット、インシデントの分析
ケース会議	月1回	支援計画の作成、振り返り
週会議	週1回	保育園、つむぎの子どもの姿共有

## 〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	運営状況報告、各部署からの連絡事項等
施設長勉強会	月1回	園運営に関わる勉強会
食育会議	年4回	法人の食育計画の見直し、グループディスカッション等
保健会議	年4回	法人の保育計画の見直し、グループディスカッション等
主任会議	月1回	主任としての園運営について、他園の主任との意見交換
子育ての質を上げる会議	月1回	各園のエピソード共有、グループディスカッション等
併設園会議	年2回	運営状況報告、グループディスカッション等

## 〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	清掃点検、子どもへの手洗い指導等
安全対策係	ヒヤリハット・インシデントの分析
防火管理者	消防計画作成、設備点検、備品点検
食品衛生責任者	調理室の管理、清掃
畠係	畠の年間計画作成、畠の管理
生き物係	餌の管理、休業時の生き物の管理

## 〈4〉 行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	保護者の窓口、地域へのお知らせ
朝霞市民まつり彩夏祭	メリーグーデン☆ポピングス鳴子隊の参加

## 4. 保育方針

### 〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期	・安心して保育園で生活できるよう、スタッフとコミュニケーション
------	-----	---------------------------------

	0～2歳児	を取りながら、信頼関係を築いていく。 ・戸外活動の楽しさを感じる。
	下半期 0～1歳児	・好きな友だちや遊びを見つけ、子ども自身で遊びを選択していく。 ・歩行が確立し、長距離散歩に出る。
幼児保育	上半期 3～5歳児	・子ども自身で好きな遊びを選択し、気の合う仲間を見つけて保育園生活を楽しむ。 ・着替えや支度等、自分でできることを増やしていく。
	下半期 2～5歳児	・遊びや指導の時間等、活動の中でメリハリをつけられる。 ・活動を子どもたち自身で計画し、意見を言葉で伝えあう。相手の意見を聞くことができるようになる。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

## 〈2〉年間行事計画

- 2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	子どもたちが食べたい時に、好きな人と、食べたい分だけ食べる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食は子どもたちが食べたいと思うタイミングで配膳ができるように環境を設定する。</li> <li>好きな友だちやスタッフと一緒に食べられるように、子ども自身で自由に席を決める（自分で椅子を運ぶ）。</li> <li>子どもたち一人一人の喫食状況を全スタッフが把握する。楽しみながら食事が取れるような言葉掛け、食欲が湧く盛り付け等、食事環境に配慮する。</li> </ul>
2	計画・ねらい	畑の野菜を使った食育活動
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児クラスを中心に、畑で育てる野菜を決める。</li> <li>週2回の畑活動にて、種植えや収穫等実際に土に触れて子どもたち自身で栽培を行う。</li> <li>収穫した野菜は翌日までに自分たちで調理をして食べる。</li> </ul>

#### 〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導、性教育（5歳児対象）
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 4～6月頃…溶連菌感染症 6～8月頃…手足口病 7～8月頃…咽頭結膜熱（プール熱） 12月頃…インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…2名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在13名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については4月30日までに受講予定
AED使用できるスタッフ（AED設置施設のみ）	AED設置無し
その他保健に関する取組	新型コロナウイルス感染症対策の取組 ・スタッフ…出勤時体温測定／定期的に手洗いうがいを実施 ・子ども…登園児体温測定／定期的に手洗いうがいを実施 ・保育室内の換気 ・一日1回の消毒（椅子などの備品、玩具）

#### 〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日

	フロン点検（定期1回/3年）	実施無し
	フロン点検（簡易）	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	安心安全に遊べ、清潔感のある保育室を保つ
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表を活用し、掃除と消毒の漏れがないよう徹底する。</li> <li>・保育室内には必要最低限の物のみ設置をする。</li> <li>・設備点検を定期的に実施し、設備や備品の破損が無いか確認する。</li> <li>・子どもたちも物を大切に扱えるよう、掃除を活動に取り入れていく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	子どもの発達に見合った環境設定
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園会議にて子どもの姿を共有し、今の子どもたちにとって必要な環境を考え、設定していく。</li> </ul>

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定期
1	無し		

## 5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	防災：消防計画、避難訓練実施（年2回消防署へ通達）、上級救急救命資格取得、防災自主訓練、危機管理マニュアルの整備、自衛消防組織と安全対策の配置、災害時は対応フローチャートに従う
2	実践予定内容	ケガ事故防止：事故防止チェック、設備点検チェック、SIDS対策（乳児午睡時5分毎に記録）、ヒヤリハット・インシデントの検証、ケガ発生時は対応フローチャートに従う
3	実践予定内容	防犯：笛の常備、不審者侵入訓練（年2回）、保護者様に送迎者登録の依頼、県内の不審者情報の把握と共有、不審者侵入時は対応フローチャートに従う
4	実践予定内容	光化学スモッグ：光化学スモッグ発令配信メールを職員全員が登録、発令時は行政連絡に従う

## 6. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉 今年度方針・テーマ

保育園は地域研修の場でもあるという考え方の元、次世代の保育者育成を目標に、中高生の体験学習や実習生の受け入れを積極的に行う。また、学生とコミュニケーションを取ることが保育園の子どもたちにとっても良い体験になるとを考えている。

1	実践予定内容	中高生の職業体験の受け入れ、職業に関する質問の受け答え
2	実践予定内容	実習生の受け入れ、実習記録の添削

## 7. スタッフ育成と研修計画

### 〈1〉 2025年度 園内研修計画

（毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施）

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック ③ 虐待防止研修 ④ ハザードマップ確認 ⑤ 労働・自然体験に関する活動報告グループ決め	・子どもの人権について学び合う ・どんなものが虐待に当たるのか、予防策、虐待発見時の対応を学ぶ。 ・ハザードマップの確認
5月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境設定の見直し	・子どもの姿を共有した上で、環境設定の見直し
6月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点	・水遊びの危険性や安全対策つい

		② 水遊び研修	て、事例を元にディスカッション形式で話し合う。
7月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境設定の見直し	・子どもの姿を共有した上で、環境設定の見直し
8月15日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 労働・自然体験に関する活動報告 (1)	・労働、自然体験をテーマに年間で計画、実践し、グループ毎に活動報告。
9月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境設定の見直し	・子どもの姿を共有した上で、環境設定の見直し
10月17日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック ③ 虐待防止研修 ④ ハザードマップ確認	・子どもの人権について学び合う ・どんなものが虐待に当たるのか、予防策、虐待発見時の対応を学ぶ。 ・ハザードマップの確認
11月21日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修（主任・ミドル）	・主任、ミドルリーダーを中心に園内研修
12月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 労働・自然体験に関する活動報告 (2)	・労働、自然体験をテーマに年間で計画、実践し、グループ毎に活動報告。
1月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境設定の見直し	・子どもの姿を共有した上で、環境設定の見直し
2月20日	18:00～21:00	策定会議1日目	・次年度目標設定
3月1日	9:00～18:00	策定会議2日目	・次年度年間行事設定

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

### 〈3〉法人支援制度の活用・出席

大学講座および社内限定公開講座	
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デスマーケティング	希望するスタッフが応募

#### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする

## 8. 地域交流計画

#### 〈1〉今年度方針・テーマ

『地域に根付いた保育園』を目指し、地域の子育て支援や地域の方々と交流する機会を多く設け、メリーグーピング北朝霞ルームの保育を知って頂く。

#### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：80名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：北朝霞公園にて 集客目標：10名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	介護施設訪問 月1回：多機能ホーム安心のおせわ～く
異年齢交流	・法人内近隣施設との合同保育
地域拠点活動	・小学校訪問
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

## 9. 小学校との連携の計画

### 〈1〉 今年度方針・テーマ

- ・小学校訪問を通して生徒や先生との交流会を行う。
- ・小学校訪問や先生のお話から、小学校の生活を体験し、保育園での遊びにも取り入れていく。
- ・埼玉県の接続期プログラムと照らし合わせ、5歳児のアプローチカリキュラムを作成する。
- ・数字や文字、化学等に興味が持てるよう、学ぶ機会を保育園生活の中に取り入れていく。
- ・指導時間にて、数字やひらがなの読み書きを学ぶ。

### 〈2〉 具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月11日（月）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
6月頃	朝霞第七小学校 1年生	12名予定	朝霞第七小学校	子ども間交流
11月頃	朝霞第七小学校 1年生	12名予定	朝霞第七小学校	授業見学
1月頃	朝霞市市民センター	2名予定	保幼少連絡会	職員間交流

## 10. 要支援児計画

### 〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

- ・配慮が必要な児童が居る場合は、家庭と連携を取りながら支援計画を作成していく。
- ・定期的に計画の見直しを行う。
- ・必要であれば専門機関に繋げていく。

### 〈2〉 毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：毎月2名ずつ予定）

- ・配慮が必要な児童の毎月の姿を共有し、計画と照らし合わせ、翌月の支援計画に反映していく。

### 〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

- ・進級引継：個別支援計画、個別記録を元に書面での引継を行う。
- ・小学校への引継：年度末の幼保小連絡会にて引継ぎを行う。

## Ⅰ. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細	
園開放	(月) ~ (土) 9:30~16:30	集客目標：10名
子育て相談	(月) ~ (土) 13:00~16:30	集客目標：10名
自然食堂…親子ランチ交流	毎月第2金曜日、第4水曜日 10:00~12:00	集客目標：10名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎月第2月曜日 10:00~12:00	集客目標：10名
勝手籠設置	(月) ~ (土) 7:00~20:00	
ちきんえっぐだより	毎月1日発行	
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：北朝霞公園にて開催	集客目標：10名

## Ⅱ. 園運営の向上

### 〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 〈2〉 園による自己評価の実施

2025年5月16日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：13時00分

自己評価終了予定時刻：14時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、各担任

### 〈3〉 利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## Ⅲ. 3カ年計画の具体化

### 〈1〉 昨年度の振り返り

3月末まで に目指し た姿	重点施策	・「朝霞市の保育園といえばメリー★ポピinz北朝霞ルーム」と、地域の全ての方に言って頂けるような施設となる。スタッフの保育の質の向上、施設の安全管理の徹底、美化に努めていく。
---------------------	------	---

		・在園のご家庭だけでなく、卒園児や地域の方が気軽に立ち寄れる施設となる。
振り返り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご見学者へは施設長又は園事務が対応と共に、スタッフも挨拶や声かけをする等、園の雰囲気が伝わるような関わりに務めた。結果、2025年度4月入所希望者はほぼ全家庭がご見学者且つ、当園を第一希望で応募をしてくれた。</li> <li>・安全面では、毎月末に当月のヒヤリハット・インシデントの分析を全スタッフでディスカッション方式にて実施をした。</li> </ul>

## 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	在園の利用者に活動をご理解頂くと共に、お知り合いにも勧めたくなるような園を目指す
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けに、園での活動報告をドキュメンタリー等で定期的に発信し、園内での取り組みを知って頂く。</li> <li>・利用者アンケートのNPSスコアを2024年度よりも上げる。</li> <li>・ちきんえっぐやどろんこ祭等、地域の方も参加できる行事では、保護者のお知り合いに声をかけて頂き、昨年度より参加者を増やす。</li> </ul>
2026年度	目指す姿	併設園としての地域での知名度を上げ、来訪者を増やす
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちきんえっぐやどろんこ祭に参加した保護者にリピート頂けるように、次回のお知らせを伝えると共に、口コミ等にもご協力頂き、来訪者を増やしていく。</li> </ul>
2027年度	目指す姿	他園交流を深め、インクルーシブ保育を充実させる
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設園として、インクルーシブ保育の地域モデルを目指すべく、園内研修を充実させると共に、園外にも取り組みを発信していく。</li> <li>・法人園だけでなく、他法人園とも連携を取り、交流会やスタッフ研修を実施していく。</li> </ul>

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリーグーグル★ポピングス 北朝霞ルーム 施設長 山田 由佳